

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公表番号】特表 2006-500462(P2006-500462A)  
 【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-001  
 【出願番号】特願 2004-540182(P2004-540182)  
 【国際特許分類】

**C 0 9 K 3/14 (2006.01)**

**B 2 4 D 3/00 (2006.01)**

**B 2 4 D 3/06 (2006.01)**

【 F I 】

C 0 9 K 3/14 5 5 0 C

C 0 9 K 3/14 5 5 0 E

C 0 9 K 3/14 5 5 0 F

B 2 4 D 3/00 3 1 0 C

B 2 4 D 3/00 3 2 0 B

B 2 4 D 3/00 3 3 0 D

B 2 4 D 3/00 3 4 0

B 2 4 D 3/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 2 日 (2005.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】

前記炭化物は、S i C、W C、及び T i コーティング済み c B N からなる群から選択される 1 種である、請求項 1 6に記載のコーティング済み超研磨材粒子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 23】

前記セパレーターは、A l <sub>2</sub> O <sub>3</sub>、S i O <sub>2</sub>、Z r O <sub>2</sub>、B N、A 1 N、及びこれらの混合物からなる群から選択される 1 種である、請求項 22に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 25

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 25】

コーティングの工程を行う前に、前記超研磨材粒子の表面に C r、S i、T i、及び W からなる群から選択される材料の層を形成する工程を行う、請求項 18に記載の方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5 9】

粒子と一緒に冶金学的に結合する前に、各粒子は凝固済み溶融ブレース合金でコーティングされる、請求項 5 8 に記載の方法。